

記者発表資料

1

平成28年7月15日(金)

部 課 (室) 名	課 長 名	班 長 名	連 絡 先
山口県観光スポーツ文化部 交通政策課	課長 浜口 和彦	主幹 河野晃彦	083-933-2522 (内線 2522)
発表内容の関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、 下関、長門、萩、首都圏		

山口宇部空港への国際定期便の就航決定について

- 本日、エアソウルによる「山口宇部空港～仁川国際空港」線の新規開設が決定
- 山口宇部空港にとって初の国際定期便
- 平成25年度から27年度に運航した連続チャーター便が、好調な利用実績を積み重ねるとともに、トップセールスにより定期便就航を働きかけてきた成果としての就航決定

1 就航期日

平成28年11月28日(月)から

(当面、ウインターダイヤ(3月まで)運航の予定)

2 運航内容

山口宇部空港～仁川国際空港 (韓国)

週3往復 (月・水・土)、ダイヤについては未定

3 航空会社

エアソウル

4 運航機材

A321-200 (195人乗り)

※ エアソウルからの発表資料は別紙のとおり

1 これまでの経緯

H26. 1. 10～H26. 2. 2	アジアナ航空が、山口宇部空港初の連続チャーター便(訪日のみ)として山口宇部～仁川間で10往復を運航
H27. 1. 9～H27. 3. 1	アジアナ航空が、山口宇部空港初の双方向連続チャーター便として山口宇部～仁川間で22往復を運航
H27. 10. 27	知事がトップセールスとして、アジアナ航空本社(ソウル)を訪問し、曹圭英(チョ・ギュヨン)副社長へ、早期の定期便化を要請
H27. 11. 4	アジアナ航空姜柱溶(カン・ジュヨン)福岡支店長が来県し、「定期便化について、2016年冬季ダイヤからの就航を検討」する旨、知事に回答
H27. 12. 4～H28. 3. 27	アジアナ航空が、双方向連続チャーター便の運航を拡大し、山口宇部～仁川間で46往復を運航

2 連続チャーター便の運航実績

年度・内容	H25 訪日(インバウンド)のみ	H26 双方向	H27 双方向
運航会社	アジアナ航空	アジアナ航空	アジアナ航空
運航期間	H26. 1. 10(金)～2. 2(日)	H27. 1. 9(金)～3. 1(日)	H27. 12. 4(金)～3. 27(日)
運航便数	週3(水・金・日)	週3(水・金・日)	週3(水・金・日)
	10往復	22往復	46往復
旅客数 (利用率)	訪日	3,336人(97.8%)	6,497人(94.1%)
	訪韓	—	450人(87.0%)
	計	1,466人(84.3%)	3,600人(95.7%)

3 エアソウルについて

(1) 設立概要

平成27年4月7日に、アジアナ航空の100%子会社として設立。

同年12月28日に韓国国土交通部より航空運送事業免許を、去る7月6日に韓国のAOC(事業許可)を取得し、7月11日に韓国国内線(ソウル～済州)に就航。

(2) 代表取締役社長

柳 光熙(リュ・グァンヒ)

(3) 日本への就航

本日、山口宇部空港をはじめ、高松、静岡、長崎、富山、広島、米子への就航発表